

事業所名

多機能型事業所たんぼぼ（児童発達支援わたげ）

支援プログラム

作成日

8年

5月

1日

法人（事業所）理念		全ての人が、障がいの有る無しに拘わらず、分け隔てなく共生できる社会の実現に向け、障がいに対する新たな視点からの住民一人一人の意識の向上を促す。これにより相互に個人として尊重され、障壁のない日常が普段のものである状態となるよう貢献することを目的とする。					
支援方針		子どもたちが安心して過ごせる「ほっとできる居場所」を大切に、一人ひとりが自分らしく過ごせる環境の中で、遊びや日々の生活の中での様々な経験を通して、「楽しい」「できた」という気持ちを自信へと繋げていきます。生活・社会性・コミュニケーション・認知・運動といった発達の土台となる力を育ていけるよう、子どもたちの成長を支えています。また、就労継続支援B型事業所の利用者との日常的な交流や、子ども食堂等の地域活動への参加を通じて、多世代交流や社会経験の機会を設け、社会性やコミュニケーション能力の向上を支援します。					
営業時間		9時	0分	11時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣…衣服の着脱・片付け・食具の使い方等、生活に必要な力を身につけ、無理のない範囲で自分のできることを増やせるようにします。 ・生活リズム…安定・安心した生活が送れるよう、流れを視覚化で提示し、見通しを持って行動できるようにします。 ・活動と休息…バランスが取れるよう、「がんばる時間」と「休む時間」を分かりやすく提示し、切り替えができるようにします。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動…歩く・走る・跳ぶ等の全身運動を通して、バランスや体の使い方を身につけられるよう、運動器具を使用したりしながら楽しんで活動に参加できるようにします。 ・微細運動…制作遊びやボタンはめ等の指先を使った遊びを通して、楽しみながら手先の動きを育ていけるようにします。 ・姿勢維持…環境調整や声かけ等を通して、無理なく安定した姿勢を保てるようにします。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・予定…絵カード等を使用して耳だけでなく目からも情報を得られるようにし、見通しを持って安心して活動できるようにします。 ・時間…タイマー等を活用し、活動の始まりや終わりが分かるようにするとともに、短い時間設定や分かりやすい声かけを通して時間の感覚が身につくようにします。 ・切り替え…「あと何回だよ」等、終わりを分かりやすく伝え、安心して次の活動へ移れるようにします。また、気持ちが高まった際に落ち着ける場所の確保をします。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表現…伝えようとする姿を受け止め、言葉を代弁したり言い換えたりしながら、表現の幅が広がるようにします。 ・言葉…絵本の読み聞かせやカード遊び等、遊びや生活の中で言葉に触れながら、少しずつ言葉のレパートリーが広がるようにします。 ・やりとり…言葉だけでなく、ジェスチャーや表情などの様々な方法を使って自分の気持ちを伝えられるよう支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・関係性作り…安心して過ごせるよう、一对一の時間を設けます。 ・集団遊び…ゲーム遊び等、一人ではできない遊びを通して、簡単なルールや関わり方を学べるようにします。 ・自由遊び…好きな遊びを通して、友達存在に気づき、人と関わる楽しさを感じられるよう支援者が仲立ちをしながら関わっていきます。 					
家族支援		児童の様子などを送迎時や面談等を通じて保護者との情報共有を行い、家庭と事業所が連携して児童の成長を支援できるよう努めています。また、保護者からの相談に随時対応し、家庭での関わり方や生活面について助言を行うなど、保護者支援にも取り組みます。必要に応じて学校や関係機関と情報共有を行い、児童が安心して生活できる環境づくりを支援します。			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への就学を見据え、集団での過ごし方、簡単なルールの理解など基本的な生活習慣に無理なく慣れ、安心して移行できるよう日々の活動を通して、一人ひとりの個性や特性、ペースに応じて段階的に様々な力を育てていきます。 ・11時以降は通園先への送迎を行い、情報共有を図りながら、一貫した支援のもとで安心して円滑な移行ができるよう支援します。
地域支援・地域連携		地域との関わりを大切に、法人として月1回開催している子ども食堂への参加や地域行事への参加など、地域との交流機会を設けています。子ども食堂では地域の子どもの高齢者など多世代が交流する場となっており、地域社会と関わる機会となっています。また、保育園や幼稚園・学校・相談支援事業所・関係機関等と連携し、児童一人ひとりに応じた支援体制づくりを行います。			職員の質の向上		事業所内研修や外部研修への参加を行い、障がい特性の理解・支援方法・虐待防止・感染症対策・安全管理等について学ぶ機会を設けています。また、日々の支援について職員間で情報共有や振り返りを行い、支援の質の向上に努めています。
主な行事等		季節行事やレクリエーション活動として、お花見、夏休みイベント、ハロウィン、クリスマス会、外出活動、誕生日会等を実施しています。また、法人で実施している子ども食堂や地域イベントへの参加など、地域との交流活動も行っています。					